

新体操男子・女子共通

- 1 アリーナに入れる者は、次のとおりとする。

	監督	正選手	合計
団体競技	1	6	7
個人競技	1	1	2

(注) (1) 監督は、男女別学校ごとに各1名とする。

(2) 伴奏のために、上表のほか、団体競技では補欠選手のうち1名が、個人では同校又は他校の参加選手のうち1名あるいは引率責任者が、前の演技者と当該演技者との演技の間に、音楽席に入場することができる。

- 2 伴奏機器について

伴奏は、CD・USBメモリとする。

伴奏機器は、主会場・サブ会場に準備し、会場のものを使用する。

ただし、練習会場においては、各校で準備する。

- 3 マットの敷き方について

はり合わせ方式のマットは、審判員側から見て、はり合わせ目が縦になるように設置することとする。

- 4 演技中の停電・選手の怪我の処置について

(1) 落雷等により競技場が停電し、伴奏音楽が停止した場合には、審判長の判断により演技を中断してもよい。再演技を行わせる。

(2) 演技中、選手が怪我をした場合、監督の判断により演技を中止させてもよい。

- 5 成績順位及び表彰について

不慮の事故等で種目の棄権があった場合、種目別選手権の表彰対象とする。

付記（以下については掲載しない）

平成25年2月26日 ・MDを削除